

武蔵野東第一・第二幼稚園

2020 年度 学校自己点検・評価

幼稚園では「学校評価に係わる学校教育法施行規則等の一部を改正する省令」が平成 19 年 10 月 30 日に公布されました。この改正に伴い、学校の教育活動その他の学校運営の状況について評価を行い、その結果に基づき学校運営の改善を図るため必要な措置を講ずることとされています。またその実施及び公表等について定められています。本園では、これに先立って、平成 15 年度より自己点検評価票を作成しております。平成 19 年度からは本園の教育方針、現状や今後の取り組むべき課題を「自己評価」としてまとめ、ホームページにて公表することにいたしました。本園の現状をご理解いただきたく参考になれば幸いです。なお、本園は、この自己評価を基に園全体で改善、改革に取り組み、より良い教育活動を行うように努めております。

教育目標	人生の基礎を培う幼児期に「みんななかよし すなおなこころ こんきのよさ」を園訓として、健康な身体づくりをするとともに、生活の自立を図る。
教育の特色	「混合教育」を中心としながら、健康な身体づくりを土台として、 ①幼稚園での生活から身につけること ②「遊び」から学ぶこと③友達と一緒に学び合うこと のそれぞれを大切にする。四季折々のさまざまな行事を通して、楽しみながら自己肯定感を育む。

	評価項目	具体的な取り組み
教育課程の編成と実施	幼児教育要領の内容を理解し、幼児の実態をふまえた教育課程の改善 自園の伝統や特色を捉えた重点化	「幼稚園教育要領」改訂で示されている「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」は、これからも変化を続ける時代の中で、子供たちがよりよく生き抜くために、しっかりと培いたい資質・能力である。そこで「子供たちの深い学びを支えるよりよい環境を整える」ことを教育重点(3年計画1年次)とし、年齢に応じて一人一人が興味関心を高めたり探求したりするための環境の工夫に取り組むことと

	<p>幼児の発達を捉え、幼児の実態、園の特色をふまえた指導計画の立案実践</p>	<p>した。本年は、コロナ禍にあつて緊急事態宣言下の影響を受け、6月からの分散保育としてスタートした。感染症予防対応をしながら、子供が夢中になって探求する時間や場所の保障、素材や道具の提案、子供の学びを捉え支える教師の眼差しなどを大切に保育を進めてきた。さらに5歳児クラスを中心に、必要に応じてIパッド等のICT環境を取り入れ、探求を深めるきっかけにしてきた。</p> <p>また今年度は、4、5月の休園中にも家庭と繋がりながら子供たちの遊びや生活の工夫ができるよう働きかけるために、保育動画の配信、オンラインツールを使った保育・保護者懇談の実施、電話連絡などを行い、保育を進めてきた。</p> <p>今後は、深い学びを支える環境について考え試行錯誤してきた一年間の取り組みを振り返るとともに、「深い学び」につながる子供の姿を捉えたエピソードを各教師から収集し、本園としての「深い学び」について探り、ICT環境を含めたよりよい環境の工夫に取り組んでいきたい。</p>
<p>研究研修</p>	<p>園内外の研修に積極的に参加し、資質の向上をはかる。資料や成果の共有と活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「コロナ禍における行事への願いと子供の育ち」を実践研究のテーマとして、例年の行事や活動を見直し、コロナ禍であっても幼児の育とうとする力に働きかけ経験してほしいことを大切にしながら、取り組んできた一つ一つの実践をまとめた。 ・文部科学省ホームページに、新型コロナウイルス感染症への本園の対応が好事例として紹介された。 ・世界文化社『PriPri 発達支援 2021年 特集号』(年4回発刊)記事を監修した。 <ul style="list-style-type: none"> ①「援助の工夫で達成感を得られる！季節の製作アイデア」(各号8ページ) ②保護者支援を目的としたページについての取材(春号) ・『新・幼児と保育』(小学館)の「2020年度版指導計画」に、本園の指導計画が掲載された。(毎月の4歳児部分を担当) ・月刊『保育とカリキュラム』(ひかりのくに社)5歳児指導計画編集会議に参画。

		<ul style="list-style-type: none"> ・保育雑誌『PriPri3月号』特集「コロナ後の保育」に掲載された。 ・東京都私立幼稚園連合会における配信動画研修への参加 ・全日本私立幼稚園幼児教育研究機構におけるオンライン研修への参加
保護者・地域との連携	<p>近隣の学校や武蔵野東小学校との協力連携互恵性のある交流</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・武蔵野東小学校と交流動画メッセージを利用した保育の実施 ・学園内園校間の教科連携 <p>小学校にて動画を作成いただき視聴した。(理科実験教室を実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方へ園児からの手紙をプレゼントした。
	<p>保護者や地域の実情にあわせた子育て支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会、個人懇談、保育公開 <p>分散・短時間で来園いただいて開催。動画・紙面配信などを組み合わせて柔軟に実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未就園行事を少人数に分散して実施(わくわくデー、なかよしクラブ、園庭開放)
	<p>教育活動、園生活や園児の様子の情報発信</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育観や子供の育ちが見えるクラスだよりを発行 ・WEB ページからの日々の情報提供やアプリ機能を積極的にを行い、紙の利用を低減。(MOTTAIN AI運動) ・SNS(インスタグラム)を開設し、幼稚園の日々の様子や園児募集について発信。100人以上のフォロワーは武蔵野市在住者が中心。 ・未就園の来園保護者を登録し、メールマガジンを配信。行事や園児募集説明会などの未就園に関わる情報を発信。 ・教育環境への配慮が、誰が見ても分かるように視覚展示 ・ドキュメントシート(画像と文章によるクラスの成長の記録)を掲示し、来園者や保護者に、本園の教育の質の向上に関わる取り組みを視覚で伝えたり、子供の旬な学びや育ちの姿を知らせたりした。 ・ポートフォリオシート(画像と文章による個々の子供の成長の記録)を学期に1枚配布し、一年間の成長を伝えた。卒園する園児には幼稚園3年間の成長の記録とともに入園時の画像を添え、大きく成長したこを実感できる紙面として渡した。

		<ul style="list-style-type: none"> ・配信動画による保護者会を実施し、園まつりに向かう子供たちの学びの姿を具体的なエピソードを通して伝え、作品を作る過程にある成長について保護者と共有した。 ・アプリケーションを使って連絡を簡潔にするとともに、必要に応じてアンケートなども取り入れ、連携をスムーズにした。
安全管理	防災避難訓練の実施 防犯訓練の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・年3回の自衛消防訓練総合訓練の実施 ・年1回の教職員の防犯訓練の実施 ・年1回の教職員の「AEDを用いた応急救護」「てんかん発作の対処法」「アナフィラキシーの対処法(エピペンの使用方法)」の研修実施
	施設整備の安全点検を定期的に行い危険の早期発見・早期対応	<ul style="list-style-type: none"> ・保育環境の日々の安全点検実施、整理整頓 ・危険箇所のすみやかな補修
保健管理	幼児の健康にかかわる年間指導計画	<ul style="list-style-type: none"> ・日々、手洗い、うがい、排泄など生活習慣の確立 ・生活のリズム、睡眠、食事の大切さの啓蒙
	健康診断の定期的な実施と幼児の健康状況の把握	<ul style="list-style-type: none"> ・養護教員によるれんらくアプリを活用した情報提供 ・内科、歯科検診、身体測定の実施と情報提供 ・コロナ感染症拡大防止対策(一例) <ul style="list-style-type: none"> * 園舎、玩具等の定期的な消毒作業の実施 * ロビー・保育室等、必要な個所にアルコール消毒の設置 * 体調管理表を配布し、毎日の検温と体調確認の実施 * 昼食時など向かい合って着席する際には、パーテーション設置
預かり保育	保育後の園での過ごし方の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・内容の充実とHPを活用した情報提供 ・れんらくアプリを利用した預かり保育申し込み ・課外教室との連動 ・夏期預かり保育の実施 ・冬期預かり保育の実施 ・春期預かり保育の実施
施設設備	施設・設備の点検や補修・改修・管理	<ul style="list-style-type: none"> ・長期修繕計画の作成 ・指定業者による定期点検の実施 ・駐輪場の塀撤去。柵を新設 ・バス無線のデジタル切り替え完了

		<ul style="list-style-type: none"> ・第一、第二 防犯カメラ増設 ・第一地下受水槽ポンプ交換 ・第二園庭遊具屋根塗り替え(腐食防止) ・プランノート電子化
--	--	--

2021 年度の取り組み

・教育重点「深い学びを支える視点からの環境の整備」(2 年次)

→2017 年度から 3 年間かけ教育の重点として「創造性の育成」を掲げ、「深い学び」や「探求すること」と関連づけながら保育を進めてきたことを、さらに発展的に受け継ぐ。子供たちが遊びや生活を通して主体的に探究するための幅広く総合的な「環境」の在り方を考えていく。

・預かり保育について

→今年度より、保育要件のある方(通常のクラスに在籍がある新 2 号認定の方)を対象に預かり保育の時間を 18 時まで延長

・第二幼稚園リニューアル工事について

→預かり保育の需要が増加し、幼稚園の役割が広がっている。4 時間の保育のために整備してある園舎を、園児、保護者の方の動線や教員配置などを含めてより使いやすいものとするために第二幼稚園の1階部分をリニューアル予定。

・新型コロナ感染拡大防止に配慮した行事について

→三密を回避し安心・安全を基盤にしつつ、園児の育ちに必要な経験を踏まえた行事を実施。年間日程表は、with コロナ、after コロナでの保育を想定した計画を提示。状況に応じて変更を加えていく。

・ICT の有効活用

→保育動画・保護者会動画など、必要に応じて紙面に加えて動画にて情報の配信。オンラインツール(ZOOM 等)を利用し、保育や保護者懇談の実施、れんらくアプリ活用の整理(情報量の調整など)